



2018年9月13日

各 位

株式会社ミマキエンジニアリング  
代表取締役社長 池田和明  
(コード番号：6638 東証第一部)  
問い合わせ先 取締役管理本部長 三宅 洋  
電話番号：0268-80-0058

### 簡易株式交換によるアルファードesign株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、アルファードesign株式会社(以下「アルファードesign」という)を株式交換完全子会社とする株式交換(以下「本株式交換」という)を行うことを決議し、本日、同社との間で株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株式交換については、当社において会社法第796条第2項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより当社の株主総会による承認を受けずに、アルファードesignにおいては、2018年9月27日に開催予定のアルファードesignの定時株主総会にて本株式交換の承認を受けたうえで、2018年10月22日を効力発生日として行われる予定です。

### 記

#### 1. 本株式交換による完全子会社化の目的

当社は「M1000 真のグローバル企業を目指す」を経営スローガンとして掲げ、産業用インクジェットプリンタの市場を、広告・看板等の製作用途のサイングラフィックス市場向け、工業製品・部品等の加飾用途のインダストリアルプロダクツ市場(以下、IP市場)向け、生地や衣料品等の捺染用途のテキスタイル・アパレル市場(以下、TA市場)向けに分類し、イノベーティブな製品(プリンタ、プロッタ、機能性インク等)を常に提供することで、年商1,000億円超のグローバル企業になることを目標としております。特に、デジタル化のポテンシャルが高いIP市場向けとTA市場向けを開拓するためには、「自動化」「無人化」へのニーズを的確に捉えることが重要と考えております。

一方、アルファードesignは、ファクトリーオートメーション装置の開発・製造・販売(以下「FA事業」)を目的として1989年に当社近隣(長野県東御市)に新設されました。現在は、国内子会社3社と中国の海外子会社2社の合計6社でアルファードesignグループを形成し、前出のFA事業に加えて基板実装装置の開発・製造・販売(以下「基板実装事業」)と金属加工事業を主要な事業領域としております。高い技術力に裏打ちされ、グループ業績は着実に拡大し、直近決算のグループ合算(簡易連結)では売上高46.1億円、営業利益1.7億円程度を確保しております。当社とアルファードesignは、近隣の開発型企業としての人的交流から当初より良好な関係を築いており、2007年12月にはアルファードesignの事業拡大に向けた資金調達を目的に、当社が第三者割当増資を引き受けた経緯があります。現在も当社はアルファードesignの株式を11.68%保有し、技術部門の交流や一部の開発委託及び開発製造委託を行っております。

この度、当社の有するインクジェットプリンタ技術に、アルファードesignの強みとするベクター(\*1)技術やメカトロニクス(\*2)技術を新たな経営資源として取り込むことで、イノベーションの重要な方向性である「自動化」「無人化」を実現できると考えております。具体的には、単体で使われることのできるIP市場やTA市場向けデジタルプリンタに、アルファードesignの搬送等の技術補完を受けることにより前後装置の商品ラインナップを充実させることができます。このように、両社の強みを組み合わせることで飛躍的な発展を具現化しつつ、IoT時代のデジタルオンデマンドプリントとマスカスタマイゼーションの両方向のトレンドに向けた高度なソリューションの提供が可能になると考えております。また、アルファードesignの既存事業であるFA事業、基板実装事業、金属加工事業も各々で収益を確保しております。当社の販売ネットワークや生産販売拠点、経営管理の手法を活用することでさらに収益力が高まり、当社の企業価値の向上に寄与するものと考え、完全子会社化することといたしました。

《事業シナジーについて》

中期的観点として、以下の事業シナジーを想定しております。

① 技術面のシナジー

アルファードesignのベクター（\*1）技術やメカトロニクス（\*2）技術を当社の技術ポートフォリオに組み込むことで、「自動化」「無人化」への対応のほか、様々な高付加価値製品群の内製化が可能となります。

② 生産面のシナジー

機構部品の精密加工を手掛ける当社の子会社（株式会社ミマキプレジジョン）とアルファードesignグループの金属加工事業の機能を融合し、得意分野の分担や加工ノウハウの共有を通じて生産効率を高めることが可能となります。

③ 営業面のシナジー

アルファードesignの主要事業である基板実装事業に、当社グループの販売ネットワークを活用することで売上規模の拡大が可能となります。

④ 管理面のシナジー

国内外の販売拠点統合による固定費削減や、工場スペースの集約による効率活用、当社の管理会計制度の導入により予実管理や採算管理を通じて経営効率の改善が可能となります。

- \*1. ベクターとは、画像を円や直線などの解析幾何的な図形の集まりとして表現するデータ形式で、カッティング技術等において活用されています。対置されるラスターとは、各点の濃淡の集まりで画像を表現するデータ形式で、インクジェット技術等において活用されています。
- \*2. メカトロニクスとは、メカニズムとエレクトロニクスの合成語で、機械工学の製品にマイクロコンピュータなどの電子工学分野の成果を付加した高性能・多機能製品の開発を目指す電子機械工学を指します。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

株式交換承認時株主総会基準日（アルファードesign）	2018年6月30日
株式交換決議取締役会（当社）	2018年9月13日
株式交換契約締結日	2018年9月13日
株式交換承認時株主総会（アルファードesign）	2018年9月27日（予定）
株式交換実施予定日（効力発生日）	2018年10月22日（予定）

（注1）当社は、会社法第796条第2項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続きにより本株式交換を行う予定です。

（注2）上記日程は、本株式交換に係る手続き進行上の必要性その他の事由によって必要となる場合には、両社の合意により変更されることがあります。

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、アルファードesignを株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、当社については、会社法第796条第2項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、当社の株主総会の承認を受けずに、アルファードesignについては、2018年9月27日開催予定の定時株主総会において本株式交換契約の承認を受けたうえで、2018年10月22日を効力発生日として行われる予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

	当社 (株式交換完全親会社)	アルファードesign (株式交換完全子会社)
本株式交換に係る交換比率	1	26

（注1）株式の割当比率

アルファードesignの普通株式1株に対して、当社の普通株式26株を割当て交付いたします。ただし、当社が既に保有しているアルファードesign普通株式2,000株に対し、本株式交換にお

ける割当ては行いません。なお、本株式交換比率は、算定の根拠となる諸条件に重大な変更が生じた場合、両社協議及び合意のうえ、変更されることがあります。

(注2) 本株式交換により交付する当社株式には、当社が保有する自己株式393,224株を充当する予定であり、新株式の発行は行わない予定です。

(注3) 1株に満たない端数の取扱い

本株式交換に伴い、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第234条の規定により、その端数の合計数（その合計数に1に満たない端数がある場合は切り捨てるものとします。）に相当する当社の株式を売却し、その端数に応じてその代金を当該株主に交付します。

(注4) 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、当社の単元未満株式（100株未満の株式）を保有することになるアルファードesignの株主につきましては、会社法第192条第1項の規定に基づき、当社に対しその保有する単元未満株式の買取を請求することができます。なお、金融商品取引所市場において単元未満株式を売却することはできません。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

アルファードesignが発行している新株予約権及び新株予約権付社債はありません。

### 3. 本株式交換に係る割当ての内容の根拠

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社及びアルファードesignは、独立した第三者算定機関であるEYトランザクション・アドバイザー・サービス株式会社（以下「EY」）から当社が提出を受けた株式交換比率の算定結果、並びに両社の財務の状況、資産の状況、財務予測等の将来見通しを踏まえて、両社で慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記株式交換比率が、EYが算定した株式交換比率の算定結果レンジ内のため妥当であり、それぞれの株主の利益に資するものであるとの判断に至り合意しました。なお、この株式交換比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両社間の協議により変更することがあります。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに上場会社及び相手会社との関係

本株式交換の株式交換比率につきましては、その公平性・妥当性を確保するため、当社は、当社並びにアルファードesignから独立した第三者算定機関であるEYに依頼し、2018年9月12日付で、株式交換比率に関する算定書を取得しました。

なお、EYは当社及びアルファードesignの関連当事者には該当せず、当社及びアルファードesignとの間で重要な利害関係を有しません。

②算定の概要

EYは、上場会社である当社株式については、市場株価が存在することから市場株価法（算定基準日を2018年9月12日とし、算定基準日並びに算定基準日までの1ヶ月、3ヶ月及び6ヶ月間の各取引日における終値平均値）を採用いたしました。株価については、近時の値であるほうが、最近のトレンドを反映しやすいという利点がある一方で、期間が短期であると、一時的な要因による価格変動の影響を受けるといった問題があり、いずれの期間がベストであるとも判断できないため、これらの値の最小値から最大値を市場株価法による算定結果としております。

採用手法	算定結果（円）
市場株価法	894 ～ 1,010

一方、アルファードesignの株式については、非上場会社であるため市場株価が存在せず、将来清算する予定はない継続企業であるため、DCF（ディスカウント・キャッシュ・フロー）法と類似会社批准法による算定を併用しております。

〈DCF法〉

算定について、アルファードesignが作成した子会社5社を含むアルファードesignグループ6社

における今後3期分の財務予測を基本として将来のフリーキャッシュフローを算定し、一定の割引率で現在価値に割り引くことによって正味事業価値を算定し、その事業価値に余剰資産（負債）の価値を加算（減算）したうえで、有利子負債の価値を控除することによって算出しております。なお、評価基準日は決算期である2018年6月30日としております。

《類似会社批准法》

算定について、アルファードesignグループの事業内容及び事業規模等が類似する上場会社の財務数値と株式時価や株式時価総額から計算した事業価値との倍率を基に、事業価値や株式価値を算定しております。なお、アルファードesignグループの比較財務数値は今期計画としております。

採用手法	算定結果 (円/1株)
DCF法	16,717 ~ 37,487
類似会社批准法	6,625 ~ 26,191

上記方式において算定されたアルファードesignの普通株式1株当たりの株式価値を1とした場合の算定結果は、以下のとおりです。

採用手法		株式交換比率の算定結果
当社	アルファードesign	
市場株価法	DCF法	16.551 ~ 41.932
市場株価法	類似会社批准法	6.560 ~ 29.296

EYは、株式交換比率の分析に際して、両社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産、各負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておりません。加えて、両社の財務予測については両社の経営陣による現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。EYの株式交換比率の分析は、2018年9月12日現在までの上記情報等と経済条件を前提としたものであります。

(3) 上場廃止となる見込み及びその理由

当社が上場廃止となる見込みはありません。

(4) 利益相反を回避するための措置

アルファードesignの主要株主であるミマキ電子部品株式会社は、1989年に当社から分離した会社であります。現状において、当社と資本関係も取引関係も存在しておりませんが、当社の取締役相談役である田中規幸氏が同社の代表取締役会長を兼務しているため、利益相反構造が存在しております。これを回避するため、田中規幸氏は本株式交換に関する協議・交渉には参加しておらず、取締役会における審議及び決議にも参加しておりません。

4. 本株式交換の当事会社の概要

	当社 (株式交換完全親会社)	アルファードesign (株式交換完全子会社)
(1) 名称	株式会社ミマキエンジニアリング	アルファードesign株式会社
(2) 所在地	長野県東御市滋野乙 2182-3	長野県東御市滋野甲 2211-3
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 池田 和明	代表取締役社長 森澤 修二郎
(4) 事業内容	コンピュータ周辺機器及びソフトウェアの開発・製造・販売	ファクトリーオートメーション装置の開発・製造・販売等
(5) 資本金	43億57百万円	1億95百万円
(6) 設立年月日	1975年8月	1989年1月
(7) 発行済株式数	32,040,000株 (2018年3月31日現在)	17,124株 (2018年6月30日現在)

(8) 決算期	3月31日	6月30日				
(9) 従業員数	1,672名(連結) (2018年6月30日現在)	88名 (2018年6月30日現在)				
(10) 主要取引先	—	大手メーカー各社				
(11) 主要取引銀行	八十二銀行	上田信用金庫				
(12) 大株主及び持株比率	(株)池田ホールディングス 14.97% (有)田中企画 7.76% 日本トラスティ・サービス 信託銀行(株) 7.34% 田中 規幸 6.74% 東京中小企業投資育成(株) 5.07% (2018年3月31日現在)	(株)エム企画 31.24% ミマキ電子部品(株) 14.60% (株)ミマキエンジニアリング 11.68% 畑田 靖江 6.57% 森澤 修二郎 5.84% (2018年6月30日現在)				
(13) 当事社間の関係等	資本関係：当社はアルファードesignの普通株式 2,000 株（保有比率 11.68%）を所有しております。					
	人的関係：該当事項はありません。					
	取引関係：当社がアルファードesignに対し、開発委託及び開発製造委託を行っております。					
	関連当事者への該当状況：該当事項はありません。					
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態						
(単位：百万円)	当社(連結)			アルファードesign(単体)		
決算期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2016年 6月期	2017年 6月期	2018年 6月期
純資産	15,642	16,049	17,778	470	300	303
総資産	46,132	49,207	54,019	2,745	2,703	2,576
1株当たり純資産(円)	501.68	534.26	584.77	27,458.28	17,566.04	17,726.51
売上高	47,840	48,331	52,471	2,408	2,685	2,166
営業利益	3,194	2,049	2,729	122	186	21
経常利益	2,756	1,746	2,359	92	177	12
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失	1,631	1,250	1,833	24	△170	2
1株当たり当期純利益又は当期純損失(円)	52.06	41.32	61.05	1,456.71	△9,975.28	130.12
1株当たり配当金(円)	10.00	10.00	12.50	0	0	0

#### 5. 本株式交換後の状況

本株式交換後の当社の商号、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金の額及び決算期について、上記「4. 本株式交換の当事会社の概要」に記載の内容から変更ありません。

#### 6. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理並びにこのれんの金額等に関しては、現時点では未定であり、確定次第速やかにお知らせいたします。

#### 7. 今後の見通し

本株式交換により、当社の当期以降の連結業績に与える影響等につきましては、現時点では確定していません。今後、開示すべき影響等が判明した場合は速やかにお知らせいたします。

以上